

# 令和5年度 瑞雲こども園職員 自己評価表について

園の基本姿勢について（5項目）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

第1章 総則（47項目）

幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等

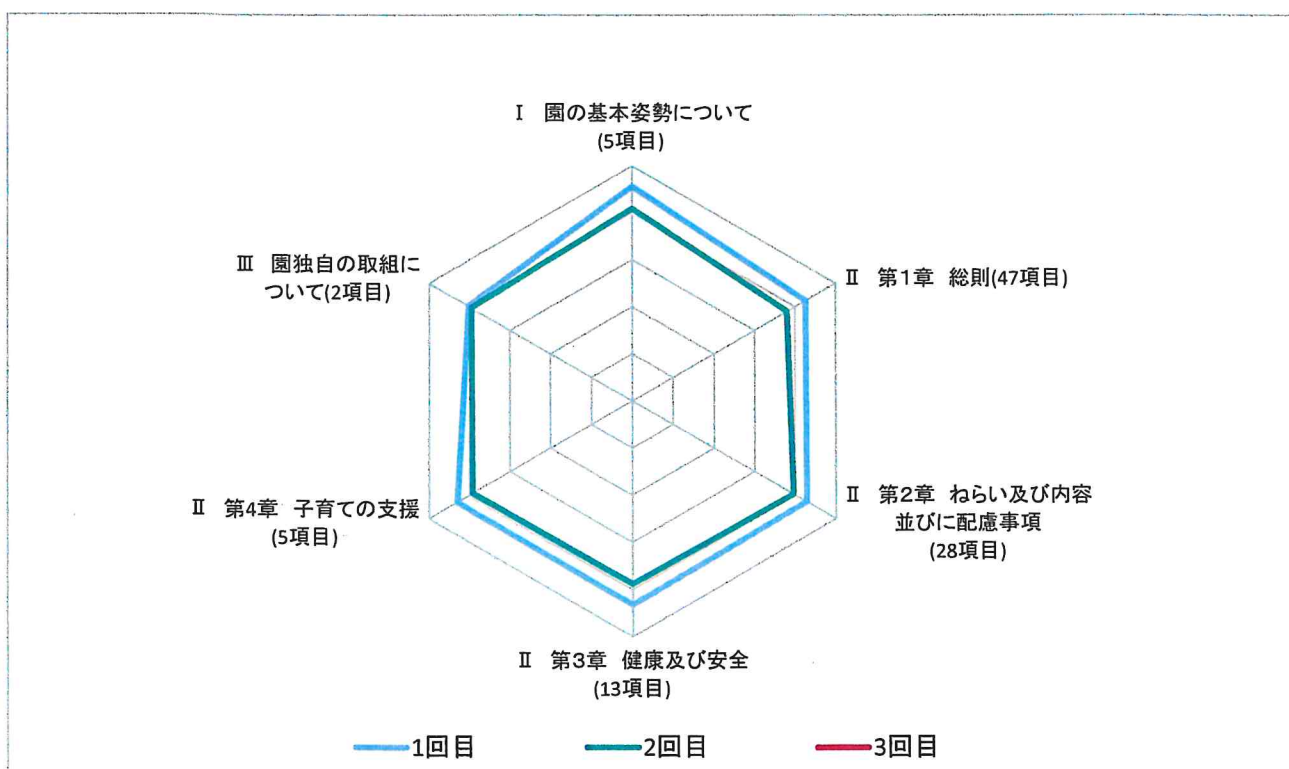
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項（28項目）

第3章 健康及び安全（13項目）

第4章 子育ての支援（5項目）

園独自の取り組みについて（2項目）

以上、100項目を自己評価し、今年度の反省をもとに次年度の改善内容を検討していきます。



今回の評価が低かった3項目についてお知らせします。

Q35 長期的に発達を見通した年、学年、月などにわたる長期の指導計画やこれとの関連を保ちながらより具体的な園児の生活に即した週、日などの短期の指導計画を作成し、適切な指導が行われるようにしている。

改善→年間計画、月の計画、個別指導計画などを作成しており、担任だけでなくクラスの補助等に入る保育教諭にも共有していく。又共有することで適切な保育が行われるようにしていく。

Q27 認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めている。

改善→幼保小の連携の連絡会にも園長先生、主幹が出向き校長先生と面接している。その際、子どもたちの成長における『10の姿』をもとに要録を作り補足のある子は伝えている。

引き続き10の姿とはどういうものか保育の中にどのように取り入れられ、保育教諭がどのような視点で子どもたちを見ているのかを具体的に伝える方法を考えていく。

Q97 自園が持つ地域性や専門性などを十分に考慮して、その地域において必要に認められるものを適切に実施している

改善→佐藤小学校との連携（参観会、見学）や、支援センターでの地域との交流、消防署や警察との連携を交えた訓練など実施している

全体評価	園長	北沢道子		副園長	梶浦邦康		保育サービス委員会 責任者	竹澤彩	
------	----	------	---	-----	------	---	------------------	-----	---